

# 石狩市風力発電ゾーニング手法検討委員会 作業部会開催結果報告書

平成30年1月30日

部会名称	平成29年度第1回景観・まちづくり・騒音等の検討に関する作業部会 ※3部会合同開催	
開催日時	平成29年12月26日(火) 10:00~12:15	
開催場所	石狩市総合保健福祉センター「りんくる」 交流活動室	
出席者	検討委員	菅澤、松島
	部会員等	部会員：川合、初山、藤田、中林、高梨、村上、石井、藤森、福岡、安田
欠席者	検討委員	高橋、遠井
	部会員等	部会員：尾山、三上、築田、小林、佐野、星崎、八代 アドバイザー：赤坂
事務局	(石狩市) 佐々木 (委託事業者) 株式会社パスコ 北野、門田	
傍聴者数	4名	
議題等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・風力発電ゾーニング計画について</li> <li>(1) 石狩市ゾーニング計画について 資料1</li> <li>(2) ゾーニング計画の事例について 資料2</li> </ul> </li> <li>3 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・風力発電を取り巻く現状等について</li> </ul> </li> <li>4 説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーニングマップの作成手法 資料3</li> </ul> </li> <li>5 意見交換 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 部会長の互選</li> <li>(2) 意見交換等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーニング事業に関する内容、不明点等の確認</li> <li>・追加すべき情報や項目に関する意見、要望</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>6 閉会</li> </ol>	
結果	<p>○議題2、4について事務局から説明。</p> <p>○議題3に関して、一般社団法人海洋産業研究会中原氏、NPO法人Envision 環境保全事務所 長谷川氏より講演。</p> <p>○議題5 意見交換</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 部会長に松島委員を選出し、部会のファシリテーターを依頼。</li> <li>(2) 部会員参加者による意見交換を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な発言内容は、別紙「会議内容の記録」のとおり。</li> </ul> </li> </ol>	

(部会員等氏名の表示については敬称略)

## 会議内容の記録

### 議題5 (2) 意見交換等

- ・ゾーニング事業に関する内容、不明点等の確認
- ・追加すべき情報や項目に関する意見、要望

#### (ファシリテーター)

ゾーニング事業の目的は、風車を建てることのできる場所、建ててはいけない場所、簡単に言う  
とリスクの高い場所などを地図に落とし、皆さんにわかりやすい形で、自然のことなどを地図化  
して、考える材料とするもので、ここで決まったことで、この場所で風車を建てるというものでは  
なく、事業を計画するとき、ここでは建てやすそうだななどと前提条件になるようなマップを作る  
ものと考えてもらえればわかりやすいかと思うが、このような考えで良いか。

#### (事務局)

そのとおりである。

#### (部会員)

ゾーニングを行うのは良いことであるが、政府の電気買い取り価格や天候が非常に荒れる石狩湾  
など様々なリスクがあるので、風力事業で採算がとれるのかを考えるのが先ではないか。

#### (検討委員)

事業性については、事業者が個別に採算性があるか、儲かるかを判断して行っている。確かに、  
市民としては事業者が途中で破産したり、施設を放棄することがあっては困るということはある  
が、固定買い取り価格は先の20年まで決まっているので、その点ではリスクは少ないと言える。

#### (部会員)

固定買い取り制度は税金が使われているので、私たちが負担していることをわかってほしい。

#### (部会員)

政府の補助金がなくなった20年後、風車が放置されるリスクなどをもっと考えてほしい。風力  
発電を安易に進めすぎているのではないか。

#### (事務局)

皆さまからのご意見を伺いながら、事業性の観点からもセンシティブな内容、状況についてまと  
めていくことがゾーニングの趣旨であると考えている。

#### (部会員)

風力発電は原子力と同じで価格が安いと言っているが、それは政府のお金が入っているからであ  
り、そこを国が隠していることが問題である。

#### (部会員)

この部会で騒音のメンバーとして参加しているメンバーは何人ですか。

#### (ファシリテーター)

本日は欠席だが、検討委員の高橋先生。

#### (事務局)

部会員は各種団体から集まっていたりしている。部会を騒音のみとした場合、検討内容が限定的  
となるため、景観・まちづくりと併せた部会としている。

#### (部会員)

この中で、当初から騒音のメンバーとして手を上げている方は何名か。

(事務局)

応募があったのは1名である。

(部会員)

騒音に係わる人数が少ないといった状況であれば、以前にも要望を出しているが、北海道大学の先生にも加わっていただけたらどうか。

(事務局)

部会員からの提案として、議事に記録する。

(ファシリテーター)

景観・まちづくり・騒音等に関する指標について、もっと配慮すべきこと、要望などがあれば、皆さんの立場から伺いたい。

(部会員)

厚田風力発電は、1%程度地域に還元しているのですが、事業者との交渉になると思うが、ほかでも同じように、事業者のまちづくり・景観づくりに還元してもらい活用するのはどうか。

(部会員)

これをするにはコストパフォーマンスの問題(事業性)がはっきりしていないと、また、ノイズ(騒音)のことも、どのように進めるかを次回に示してもらわないと高度な協議にならない。事業性のマイナス面、20年後のことなどがはっきりとしてから、まちづくりなどの検討になるのではないか。

(ファシリテーター)

採算性については、ほかの部会で並行して協議しているので、そこでの内容も併せて、今後進める。騒音については、例えば住宅地などの土地利用や風車からの距離などを検討するなどの手順を進めていくことになる。その際に、検討する条件としての要望や意見を皆さんから伺いたい。

(部会員)

色々議論を進めても、事業性がOKでないと始まらないのではないか。

(ファシリテーター)

事業性の有無は、個別事業者の判断となる。

(部会員)

石狩市には風力発電条例のようなものはあるのか。

(事務局)

ない。

(部会員)

稚内では、住宅地から100m以内に小型風力を建ててはどうかという話が新聞などで出ているが、このようなことも考えているのか。小規模、大規模の様々な風力があるが、無秩序に行われると困るという考えがあるのか。市の考え、方向性を聞きたい。

(事務局)

今回は大型の風力を対象としている。再エネの導入拡大、地域との軋轢などの点から大型を対象とする。稚内では、買い取り価格が高いため、小規模風力は資産運用としての投資が集中している。石狩市でも問い合わせが多い。今回は、大型風力をうまく誘導することによって、環境保全と導入

拡大の両立を図りたいというのが、事業の目玉である。小型風力についても、風車の諸元が違うものの、ゾーニングを活用できるのではと考えている。

(部会員)

大型風車がメインということだが、大型風車の規模はどう考えているのか。

(事務局)

1,500kW～2,000kW 規模以上になると考えている。今は20kW未満の風車は対象と考えていない。

(部会員)

稚内では小型風力だが100mでも音がする、困っているという声がある。小型風力でも騒音に気をつけなければならないと思う。

(部会員)

風力発電が見えるところに住んでいる。厚田に新しく2基が建ったが、直線で9kmほど離れているが、夜間灯の明かりが窓から入り、赤い色に変えてもらったが、空気も澄んできたこともあり、明るくて邪魔である。点滅するのでなおさら気持ちが悪い。厚田は星のきれいなところなので、環境の良いところに人工物ができると邪魔である。

(部会員)

森林組合にも風力発電の話はきているので、この問題は本当に身近なところまできている。洋上であれば遠く離れているので良いのでないか。

(部会員)

離れていけば良いというものではない。

(部会員)

漁業協調の話について、事例として紹介されていたが、ほとんどが石狩の漁業には適していない。人工の魚礁につく魚種はほとんど漁業としていない。石狩はニシンとサケなので、養殖生簀などへの活用はできない。岩手県の洋野町では40基が防波堤のように並び、1基の影響が6mの範囲としても、全部でかなりの範囲となるので漁業への影響もあるのではと思う。

(部会員)

森林にとってはこのようなもの(洋野町の40基)を作ってもらおうと、風車で風が弱まり中の森林の成長が良くなるので良い。海岸にできるだけ大型のものを作って風を防いでもらえると、森林の成長には良い。オランダでは、このような研究報告がある。

(部会員)

騒音について、どのような音が発生するのか実際に聞いていないので、住宅地ではどうなのかとかイメージができない。色々な資料があったうえで、観光などに対してはどうなのかといったことを議論していくのが良いと思う。

(部会員)

資料のデータが広すぎるため、これではどこでもできることになるので、もっと細かい資料がほしい。石狩市の騒音条例などでは、この地域では何dB以下であるなど、全部を含めてどのようにするかを示してほしい。

(検討委員)

今回の作業部会では、資料で示したドイツのゾーニング事例について、バッファー距離など具体的な資料を準備すると良い。

以上